

山口左七郎関係書簡目録

—山口家文書の紹介(その4)—

河内光治 滝本可紀
福田以久生 野崎昭雄

A List of Notes of SASHICHIRO YAMAGUCHI
— Introduction of YAMAGUCHI Documents (Part 4) —

Koji KAWACHI, Yoshinori TAKIMOTO, Ikuo FUKUDA
and Akio NOZAKI

山口家文書の概要については、既に『山口家文書とその目録』(『幾徳工業大学研究報告』A 人文社会科学編 3号 昭和53年3月刊)において紹介し、その後、史料の解説作業をすすめ、また内容的検討を加えて『大住郡上粕屋村と山口左七郎の父祖たち』(前掲誌 4号 昭和54年3月刊)、『山口左七郎の祖父』(前掲誌 5号 昭和55年3月刊)、『山口左七郎の日記』(前掲誌 6号 昭和57年3月刊)と題して発表してきた。

一方、先に報告した目録は書類を対象とし、書簡は除外していた。そこで今回は、この除外していた書簡の内、山口左七郎関係の書簡について整理し終えたので目録として報告することにした。

なお、本学主脳部の暖かい理解と援助のもとに、「北湘近代史研究会」によってすすめられてきた山口家文書の整理と解説及び報告は、今回をもって終了するに至ったことを付記しておく。

山口左七郎については、既に先にあげた誌上であきらかにしてきたので割愛するが、左七郎が明治45(1912)年2月に死去するまでの経歴からすると、その人脈は極めて広いものであったことが想像できる。とすれば、残された左七郎宛書簡も相当の量があったものと思われるが、当然ながら廃棄されたり散逸したものもあり、今回整理したものが左七郎宛書簡の全てであるとはもちろん言い得ない。

と言うのも、書簡の年代的傾向に偏りがみられるという別の理由にもよるのである。すなわち、明治10年代を占める量が多く、この時期以外の書簡は極めて少ない。となると、そのことはまた左七郎宛書簡からは彼自身の直接の言動を知ることとはできないにしても、間接的

に知ることさえも不可能となる。とくに村議会議員時代、衆議院議員時代あるいは企業経営に参画していた時代などのものがないことが惜しまれる。

ともあれ、このような制約があることを前提にし、概要を述べてみる。

この書簡群で、最も興味をひくのは民権結社「湘南社」関係の書簡である。「湘南社」の結社経過については山口左七郎の日記(前掲)により知ることができるが、結社後の支部結成の動きあるいは中央からの民権演説者招聘などの顛末は、石坂昌孝・今井国三郎・今井栄二郎・梅原脩平・梅原良・栗原宣太郎・肥塚龍・近藤市太郎・佐野仲次郎・沢田弼・湘南社幹事・伊達時・高木喜一郎・中川良知・中島信行・中村舜次郎・福井直吉・宮田寅治・山口書輔といった人の書簡あるいは大沢市左衛門宛左七郎書簡、沢田弼宛草間時福書簡などによって知ることができる。

養父作助の書簡が全体で一番多く占めているのは当然として、これらの書簡は左七郎が神奈川県庁に勤務していた時期のものである。

この作助の書簡では留守宅あるいは近隣の様子をこまごまと書き送っているが、この時、山口家の大きな問題となっていたのは、七沢村黄金井伝四郎との間でおこっていた土地をめぐる係争事件である。詳細は不明であるが、一度は山口家が示談に持ちこんだが物別れに終わり、大審院で争うに至ったことがうかがわれる。明治8(1875)年に設立されたばかりの大審院で決着をつけようとする態度は、双方共に明治新政権下の司法機関の裁定に期待をかけるところがあったためであろう。しかし、これにどのような裁定がくだったかは不明である。(左七郎の日記の明治11年の項参照)

山口家は畑作を中心とした小作経営をする、いわゆる

昭和57年10月6日受理

豪農家であった。ところがその経済力をあてこんで、出資や借金の依頼が多く、また借金を期日まで返済できずに延納を願う者がいるなどといったことが書簡からうかがえる。貸金をするというのは、当時の豪農のごくあたりまえの行為ではあったが、実は山口家はこの貸金によって所有地を拡大していったのである。

中島信行と左七郎が親交の厚かったことはよく知られているところであるが、中島は左七郎の郡長時代にその幹旋で大住郡笠窪村（現秦野市）に土地を購入して小作経営をし、そこからの小作米は左七郎に委託して売却していたことが書簡からうかがえて興味をひく。明治14

（1881）年の国会開設の詔が出された時点をとっても、国会が開設される際の選挙で選挙権資格として直接国税納入の有無が関係することを予想した上での計画であることは言い切れないところに、この土地購入の動機がはっきりとしない点がある。しかし、後の衆議院議員選挙の際には、この土地の「地租納税領収証」を有権者資格の証明に有効に使用している。

以上、書簡の概要を1,2の興味ある内容をあげて述べてみた。さらに、内容をあげて述べるには瑣末なことに及びかつ煩雑となるのでこの程度としておく。

なお本稿及び目録の文責は野崎昭雄にある。

山口左七郎文書書簡の部

凡 例

1. 本目録は「山口左七郎文書書簡の部」として整理した。書簡の部は、さらに左七郎宛書簡、左七郎書簡、その他にわけた。
2. 本目録は、左七郎宛書簡においては差出人、左七郎書簡においては請取人、その他では差出人のそれぞれを五十音順とし、個々の差出人あるいは請取人についての書簡は年月日順に配列したが、年代不明のものは月日順とした。年代については、書簡内容から推定したものあるいは不明のものについては〔 〕を付した。
3. 左七郎宛書簡での差出人の職名地位等については判明する人物に限り注書とした。
4. 個々の書簡についての記載順序は、書簡日付、請求番号、内容摘録、注記とした。なお、書簡の年代不明のもので宛先住所が横浜あるいは大磯となっているものは、下記の在職期間す関連するものと思われるので、年代推定の手がかりとするために書簡日付のあとに（ ）でその旨を記した。

神奈川県庁在職 明治9年12月～11年3月

大磯郡役所在職 明治11年11月～14年11月

5. 書簡内容の摘録の表現が不統一を免れなかったことをお断りしておく。

目 次

山口左七郎宛書簡

あ

青木 精一
青木 平兵衛
赤松 五郎
浅岡 登志美
東
麻生 専次郎

い

飯岡 頼重
飯島 憲章
五十嵐
石井 吉右衛門
石井 四郎兵衛
石井 新三郎
石井 □四郎
石渡 正敏
石阪 昌孝
出浦 力哉
磯貝 静蔵

磯部 鉄太郎

磯吉
伊地知 軍助
稲垣 道生
猪俣 承三
居原 桂造
今井 庄兵衛
今井 国三郎
今井 栄二郎
今西 相一
今福 元順
岩田 良斉

う

鵜川 九兵衛
打村 鹿
内山 寛五郎
内海 政雄
梅原 脩平
梅原 良

え

江口 武寿
榎本 武揚
江原 素六
海老塚 四郎兵衛
遠州屋

お

大内 薫平
大国 市郎
大沢 市左衛門
大沢 精一
大高 甚太郎
太田 文好
大谷 清敏
大谷 泰平
大谷 包道
大矢 昌三郎
小川 清
小川 茂周
小川 龍二

小沢 兵太郎

小野 惇之
岡本 貞□
奥村 精一
音羽

か

寛太郎
糟屋
片岡 健吉
加藤 定静
加藤 □□
加藤 泰次郎
香取 新之助
神奈川県
金子 馬之助
金子 信平
金子 文輔
金田 敬親
環節堂
神戸 康二

色

北井 要太郎
木邨 忠彦
共伸社

く

葛貫 萬兵衛
国子
熊沢 又造
熊沢 庸作
栗原 宣太郎

け

慶応義塾出版社

こ

小泉 嘉平治
小島 五郎右衛門
小島 信民
小島 莊三
小島 □□
小西 正蔭
小西 正寛
小林 省三
小林 大次郎
小林 銓太郎
小早川 勝蔵
小松 通時
小宮 良庵
肥塚 龍
高麗 邦恒
河野 通倫
交詢社
国会新聞社
近藤 市太郎
近藤 陳郎
近藤 彦三郎

さ

佐田 正彦
佐藤 喜左衛門
佐藤 里治
佐藤 信政
佐野 仲次郎
斉藤 リキ
斉藤 善助
阪本 則美
鮫島 友次郎
沢田 彌
沢田 正国
沢野 房次郎

し

篠崎 常存
志波 庫吉
渋沢 栄一
島 好篤

島村 光太
清水 清
清水 研圃
清水 正恭
清水 義雄
清水 要
自由党
自由倶楽部
湘南社
新藤 治右衛門

す

杉本 甚平衛
杉山 恒吉郎
杉山 泰助
鈴木 券太郎
鈴木 吉右衛門

せ

関島 宇兵衛
瀬戸 齡助

そ

添田 知通
曾祢 荒助

た

田代 富八郎
田中 興行
田中 作蔵
伊達 時
伊達 彰民
高木 喜一郎
高橋 太三郎
高島 藍泉
高島 瓶三郎
武田 平兵衛
武林
竹内 綱
竹村 鯛平
龍野 周一郎

つ

津田 幽圃
妻木 狷介
鶴屋 勘左衛門

て

寺西 理三郎
伝吉

と

東京横浜毎日新聞社
洞昌院
常盤 重吉
徳之
徳富 猪一郎

鳥海 周次郎

な

内藤 誉三郎
中川 良知
中島 信行
中島 俊子
中島 久万吉
中野
中村 舜次郎
中丸 稲八郎
中溝 昌弘
中山 信明
長尾 忠造
長尾 長左衛門
長尾 和吉
長屋 利□
長峰 浅吉
成田 剛蔵

に

二宮 貞勝
二宮 貞節
西尾 作吉
西村 捨造
日本諸新聞切抜通信社

の

野沢 金七
野村 靖
野原 惇吉

は

原 喜三郎
原 嘉道
八十老

ひ

比留川 尚卿
比留川 尚彦
兵藤 芳雄

ふ

二見 松太郎
深谷 尚弁
福井 源二郎
福井 直吉
福島 治兵衛
福住 正兄
福島 源兵衛
福家 昌吉

ほ

報知新聞社
星崎 孝太郎
穂積 敬重
北海道大有社東京出
張所

堀江 周治郎
堀江 弥八
本多 勝三郎
本多 静直
本多 禄太郎
本間 重貞

ま

間部 郷多
間宮 金三郎
間宮 信行
間宮 母
間宮 梅翁
益田 勘右衛門
増田 知
松尾 美朗
松本 寛一
丸善

み

三鶯 八右衛門
三橋 喜久造
水島 常左衛門
水島 保太郎
溝呂木 甲子太郎
溝呂木 環
南多摩郡役所
宮代 謙吉
宮田 寅治

む

村瀬

め

目黒 久男

も

森田 栄蔵

や

八尾 玄益
柳川 寅吉
山岡 愨
山口 市之助
山口 勝太郎
山口 作助
山口 書輔
山口 まき
山口 秀明
山口 秀胤
山口 寅吉
山口 正之助
山口 松之助
山口 □□
山田 伊兵衛
山田 権三郎
山田 雪助
山本 長造

ゆ 郵便報知新聞社	吉田 吉兵衛	大沢 市左衛門宛 小島 壮三宛 山口 作助宛	山口作助宛金田敬親書 簡 沢田彌宛草間時福書簡 湘南学舎宛波多野伝三 郎書簡 山口まき宛間宮母書簡
よ 横地 鮫平 横山 才次郎 吉岡 信徳 吉川 繁之助	わ 和田 周造 渡辺 恕之允 差出人不明 山口左七郎書簡	その他 沢田彌宛打村鹿書簡 山口作助宛梅原脩平書 簡	
青木 精一 明治40年11月10日 金員は正之助へ渡した	1	況について 同封 明治17年4月30日 町村連合会議員当選者通知	
青木 平兵衛 明治〔 〕年9月15日 治療費拝借したい	2	明治〔 〕年2月12日 貴命は公用がないので承まわる	13
赤松 五郎 明治〔 〕年〔 〕月8日(在大磯) 旅費金繰替願	3	明治〔 〕年5月16日 本県より新旧租額の件は採用し難い旨回答あ った 恩賜衛生費は証書を請求したい	15
清岡 登志美 明治〔 〕年11月14日(在横浜) 浅草にて書画房拝見す	4	飯島 憲章 明治〔 〕年11月30日 依願退職挨拶	16
東 明治〔 〕年3月16日	5	五十嵐 明治13年1月18日 小田原出向の節御立寄願う	17
麻生 専次郎 明治〔 〕年12月9日 地所の件父へ相談した	6	石井 吉右衛門 明治〔 〕年4月11日(在大磯) 本日をもって諸道具売払う 注 石井は県第三課勤務	19
飯岡 頼重 明治12年1月12日 落幡村動揺の気配あり出張した 注 飯岡は郡書記	7	明治12年4月25日 嘆願の義一応差し留める	26
明治〔 〕年1月22日(在大磯) 用済み次第帰序する	12	明治12年5月24日 下附金用途報告	18
明治14年10月31日 営業税雑種税則及び賦課規則発令に付照会	8	明治13年1月22日 六七十円御用立願う	25
明治〔15〕年3月10日 大住海綾両郡長拝命内達あった 注 表書差出は梅原脩平	100	明治13年1月25日 拙村内部の件推考の程願う 今や辞表を認め た	28
明治15年3月29日 大住海綾両郡長就任報告	9	明治13年2月6日 地所売買の件	38
明治15年4月21日 曾屋村河敷の件は小田原警察署と協議する	10	明治13年6月22日 大山目黒氏の儀内談す	20
明治17年4月25日 中学校葛藤事件はこれまでの律案委員不適當 に付改選した 同封	11	明治〔 〕年4月19日 曾屋の詭瓦大事件に付話しある	24
明治17年4月27日 五郡連合中学校議員選挙状		明治〔 〕年5月26日 兵卒在滞中の勲章賜金下賜該当事誤りに付そ の取り扱い方について	23
明治〔 〕年5月2日 五郡町村連合会議員選挙会開催に付現下の状	14	明治〔 〕年11月25日 梅原より金円返済云々来月迄延期願う	22
		明治〔 〕年12月11日 五百円梅原氏御回しの件工夫願う	21

石井 四郎兵衛		明治 11 年 12 月 18 日	49
明治〔12〕年 1 月 28 日	27	民費収入賦課方法改正に伴う仮納金について	
郡長出勤御苦勞 弁金願う			
石井 新三郎		明治 12 年 1 月 10 日	50
明治〔 〕年 11 月 10 日（在横浜）	34	郡書記小島莊三の辞職について	
借金承諾に感謝す		明治 12 年 5 月 12 日	51
注 石井は県地理課勤務		郡書記後任人事見合せ方通知	
明治〔 〕年 10 月 13 日（在大磯）	31	明治 12 年 5 月 15 日	52
彼の件事務渋滞している		郡書記後任雇用見合せ方について	
明治〔 〕年 10 月 25 日（在大磯）	30	明治〔14〕年 11 月 25 日	56
金員急場に付整わず		福井氏辞職について	
明治 14 年 8 月 29 日	29	明治〔 〕年 1 月	46
平素の無沙汰をわびる		年始挨拶	
明治 14 年 10 月 24 日	35	明治〔 〕年 6 月 21 日（在大磯）	53
依頼の件都合つかない		明治〔 〕年 6 月 21 日（在大磯）	54
明治 14 年 11 月 18 日	36	講習所臨席予定はとりやめる	
進送の件猶予がほしい		明治〔 〕年 8 月 30 日	55
明治〔 〕年 1 月 23 日	32	村会議員選挙は注意を要す	
御暇あれば是非御光来願う		明治〔 〕年 10 月 19 日	57
明治〔 〕年 11 月 22 日	33	野原なる者 県収税課にも奉職していた	
風邪に付欠勤する			
石井 □四郎		磯部 鉄太郎	
明治〔 〕年 4 月 25 日	37	明治 19 年 10 月 14 日	62
持病で臥っている		別冊目録書返却通知（別冊なし）	
		注 この時 磯部は郡書記	
石渡 正敏		明治〔 〕年 1 月 18 日	58
明治 12 年 1 月 11 日		年頭挨拶 集会欠席通知	
勸業通信委員選定の件同意す	39	明治〔 〕年 3 月 12 日	59
注 石渡は県勸業課勤務		講学会勧誘依頼の件 共伸社株券に付御尽力感謝す	
明治 13 年 1 月 20 日	40	明治〔 〕年 5 月 2 日	61
水産奨励のため漁客希望者召集依頼		桧苗は御託人吉川善六へ依頼を願う	
明治〔 〕年 3 月 11 日（在大磯）	41	明治〔 〕年 12 月 26 日	60
大阪共進会派遣員選定を依頼す		株券買入に付実印入用	
明治〔 〕年〔 〕月 26 日（在大磯）	42	磯吉	
子易村秣山開墾年季明けの件問合せ		明治〔 〕年 1 月 19 日	63
石阪 昌孝		横浜裁判所で審問うける	
明治〔 〕年 9 月 5 日	43	伊地知 軍助	
教養塾規則不要であれば御返し願いたい		明治 36 年 8 月 31 日	64
明治〔 〕年 9 月 18 日（在大磯）	44	借金依頼	
中島氏より伝言あり 塾教幹沢田の辞職は裁可おりた		稲垣 道生	
出浦 力硅		明治〔11〕年 9 月 8 日	65
明治 28 年 10 月 30 日	45	町村会規則裁可いまだおりない	
御実家の紛議の件出訴のこと入聞す		注 稲垣は高座郡長	
注 磯貝は県庶務課長		明治 13 年 1 月 8 日	66
磯貝 静蔵		旧新租額差引合計の件了承す	
明治〔 〕年〔 〕月 22 日	47	明治〔 〕年 9 月 12 日（在大磯）	67
真土村所有地の件		親睦会次の日曜日に延期したい	
明治〔 〕年〔 〕月 27 日	48	猪俣 承三	
真土村一件の取り扱い方について		明治〔 〕年 6 月 12 日	68
		伊達彰民学業の件依頼あった	

居原 桂造		明治 15 年 9 月 16 日	84
明治 14 年 8 月 18 日	69	14 年分小作米売却代領収	
代居原代謝山口君書		明治 16 年 11 月 6 日	85
今井 国三郎		領収証送付す	
明治〔14〕年〔 〕月〔 〕日	71	同封	
義塾開設諸君ニ告グ		中島信行宛領収証	
注 差出人は今井国とのみになっているが72		明治〔 〕年 1 月 6 日	92
の筆跡と照合しここにいた		新年挨拶 地所の儀取り計らい方宜しく願う	
明治 24 年 11 月 24 日	72	明治〔 〕年 1 月 14 日	86
傍聴有志者出京す		十円位の値であれば米を売りさばいてほしい	
同封		明治〔 〕年 3 月 26 日	91
今井宛山口書輔書翰		地券送付通知	
明治 24 年 11 月 24 日		明治〔 〕年 4 月 1 日	87
当方にも傍聴希望者がいる		今年の米価は安くなるのか それによって米	
今井 栄二郎		を預かるかどうかきめたい	
明治〔 〕年 10 月 18 日	73	明治〔 〕年 4 月 5 日	88
高木先生 午後大福寺にて演説に付臨席願う		金二百五十円受領	
注 連記差出人 山田伊兵衛 筆跡は山田		明治〔 〕年 10 月 16 日	89
今井 庄兵衛		移転通知 お金一日も早く送付願う	
明治〔 〕年 10 月 16 日	70	明治〔 〕年 12 月 18 日	90
万太郎妻の件感謝す		証書送付す	
明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日	74	内山 寛五郎	
葛貫宛書翰代読す		明治〔 〕年 6 月 12 日 (在大磯)	95
注 国三郎 庄兵衛の筆跡と相違し 栄二郎		国民軍調査の対象者 21 才以上は無益	
とは照合できないのでここにおく		注 内山は足柄下郡長	
今西 相一		明治〔 〕年 11 月 10 日	94
明治〔 〕年 9 月 5 日 (在大磯)	75	中学校費資本計算書送付す 愛甲連合設立に	
コレラ病の景況伺い		御高配願う	
今福 元順		明治 14 年 11 月 29 日	93
明治〔 〕年 6 月 15 日	76	郡長在任中の御高配を感謝す	
小田原駅小西氏より依頼物到達 当方有志記		内海 政雄	
入の上送り返す		明治〔 〕年 5 月 5 日	96
岩田 良斎		賢妹の教育の件拝眉の上申し上げる	
明治〔 〕年 2 月 3 日	77	明治〔 〕年 5 月 5 日	97
高村氏学業の為貴君を頼る		残米及び地所金支払い方法を問う	
鵜川 九兵衛		梅原 脩平	
明治 10 年 12 月 11 日	78	明治 15 年 2 月 21 日	98
暴徒のため殉職の巡査の石碑建設費寄付願		五日間の講学では是非沢田氏を呼んでほしい	
明治 11 年 1 月 12 日	79	明治〔 〕年 1 月 23 日	99
御配慮の段安心す		本日の懇親会欠席を惜む 30 日宴会開会	
明治〔 〕年 8 月 9 日	80	明治〔 〕年 7 月 3 日	101
下肥売却した		伊達彰民の学資への厚志感謝す	
打村 鹿		明治〔 〕年 11 月 18 日	102
明治 13 年 11 月 25 日	82	内務省へ願書提出に付不都合の節擁護を乞う	
中島信行は山梨からの帰途 貴家へ立寄る		注 佐野仲次郎も連名差出	
明治 15 年 1 月 5 日	81	梅原 良	
中島の大坂での連絡先を沢田へ知らせてほし		明治 15 年 4 月 1 日	103
い		講学会日々 20 名程加入	
明治 15 年 2 月 6 日	83	明治 15 年 4 月 26 日	104
東京を引払う予定		板垣遭難見舞金送付	

明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日 講学会テキストは当分自治論とする 講堂は 曾屋学校とする	105	引越しをした 先妻と報知新聞の記事につい て	
明治 26 年 4 月 8 日 山口書輔借金整理遅滞なくすすめる	106	大國 市郎 明治〔 〕年 11 月 23 日（在大磯） 巡査として在勤中の御厚情に感謝す	122
江口 武寿 明治〔 〕年 9 月 8 日 願書下書き添削を願う 同封 県令野村靖宛江口願書 明治 13 年 8 月 8 日 検疫掛病身に付辞退したい	107	大沢 市左衛門 明治〔 〕年 10 月 6 日（在大磯） 京阪地方に贋造紙幣がでまわっている 明治〔14〕年 4 月 1 日 伊勢原罹災者への旧社会金貸付後音信ない	124 123
榎本 武揚 明治 24 年 1 月 義済会開設通知 同封 勸業義済会開設之主意及方法書 注 榎本は上野公園勸業義済会名誉会頭	108	大沢 精一 明治 10 年 4 月 11 日 御話しの一条は伺書差出しずみ 明治〔 〕年 12 月 3 日 村吏証印伺書回達す	125 126
江原 素六 明治 24 年 12 月 7 日 請願委員会開催通知 注 江原は請願委員長 明治 24 年 12 月 11 日 請願委員会開催通知 明治 24 年 12 月 18 日 請願委員会開催通知 明治 24 年 12 月 21 日 請願委員会開催通知 明治 24 年 12 月 24 日 請願委員会開催通知	109 110 111 112 113	大高 甚太郎 明治 11 年 1 月 16 日 預った書面を送付する 同封 山口宛麻生今助書翰 明治 11 年 1 月 11 日 火事の後始末終了 御渡ししたき物あり	127
海老塚 四郎兵衛 明治 12 年 5 月 17 日 松木の焼失地券は県庁より貴郡へ送付の予定 明治〔 〕年 5 月 31 日（在大磯） 真土村一件 三名の者を立会人とする 明治 15 年 1 月 23 日 新聞社設立に付尽力を請う 明治〔 〕年 1 月 24 日 御配慮の件自分推参すべきだが憚っている 明治〔 〕年 8 月 8 日 御話ししたき事ある	114 115 116 118 117	太田 文好 明治 13 年 11 月 25 日 製糸工女雇入違約は問題あり 明治〔 〕年 6 月 25 日 蚕種印紙税の件問合せ 大谷 清敏 明治〔 〕年 2 月 1 日（在大磯） やはり辞職を決意す	128 129
遠州屋 明治〔 〕年 8 月 27 日 所得税の件 米代金入金 山林調査依頼	119	大谷 泰平 明治〔 〕年 9 月 9 日（在大磯） 父死亡す 大谷 包道 明治〔 〕年 2 月 7 日（在横浜） 面会したい 明治〔 〕年 1 月 8 日（在大磯） 出港の節面会を希望 明治〔 〕年 5 月 7 日（在大磯） 地価予定額視察のため県書記官巡回 明治〔 〕年 5 月 17 日（在大磯） 縮図謄写して送る 明治〔 〕年 6 月 3 日（在大磯） 別封早く届けてほしい（別封なし） 明治〔 〕年〔 〕月 12 日（在大磯） 縮図代金領収 明治〔 〕年 2 月 8 日 なかなか立寄れず残念に思う	130 131 138 132 133 135 134 136 137
大内 董平 明治〔10〕年 2 月 26 日 事務繁雑を極めている 西国の動揺邦家のた め憂う 明治 13 年 10 月 7 日	121 120		

大矢 昌三郎		明日は芦ノ湯に投宿する	
明治〔 〕年1月23日	139	片岡 健吉	
貢物代金返済		明治24年4月7日	153
小川 清		事務所開設通知	
明治〔 〕年1月31日	140	注 片岡は自由倶楽部幹事	
指令書の件回答		明治24年5月7日	154
小川 茂周		帰県に付植木三崎に事務依頼す	
明治12年1月2日	141	加藤 定静	
郡下64村3町で52人の戸長就任		明治〔 〕年4月24日(在横浜)	163
注 小川は三浦郡長		かの事件談判を進める	
明治15年1月4日	142	明治〔 〕年5月28日	155
新年祝詞		長五郎出演の由承わる	
明治〔 〕年9月28日	636	加藤 茂里	
突然常置委員改選建議成立したが紛糾した		明治〔 〕年6月12日	156
小川 龍二		有志諸君へ宜しく伝えてほしい	
明治〔 〕年〔 〕月2日	143	加藤 泰次郎	
購求書籍の件回答		明治〔 〕年1月7日(在大磯)	162
注 小川は県学務課勤務		謹賀新年	
小沢 兵太郎		明治13年6月24日	157
明治28年5月20日	144	御約束の前途一件に付中村舜次郎と会同したい	
三郡共立組合会議員当選通知		明治13年7月17日	158
同封		春以来内話の件に付今後の処置を問う	
山口宛原政吉書翰		明治13年10月27日	159
明治28年5月22日		各県より派遣するのに本県のみしないのは残念	
還幸奉迎通知		明治13年12月10日	160
小野 惇之		徴兵下検査の景状伺いたい 臨時県会模様頗る不穩 漸次人心激昂	
明治12年4月5日	145	明治15年1月1日	161
卒業試験延期通知		謹賀新年	
注 小野は県学務課勤務		香取 新之助	
明治〔 〕年2月6日	146	明治13年11月5日	164
平川学務課長臨席の予定		人身売買の儀この程計路立った	
明治〔 〕年3月3日	147	明治13年12月13日	165
今日午前試験終了 石井八等属郡役所へ出頭 の予定		佐田定吉就職の件取り計らってほしい	
岡本 貞口		明治13年12月21日	170
明治〔 〕年9月6日(在大磯)	148	佐田は10日到着予定 御回しの人給額八円に きめる	
高木喜一郎の件は松本福昌から話しがある		明治14年1月13日	167
奥村 精一		中島栄一採用願ひ	
明治〔 〕年2月18日(在大磯)	149	明治14年1月26日	166
小学教員試験出張に付依頼の件承知した		面会したい	
注 奥村は県四等属学務課勤務		明治14年1月27日	168
音羽		小早川氏辞任	
大正12年9月10日	150	明治〔14〕年1月28日	169
地震見舞		中島栄一氏明日出発	
覚太郎		神奈川県庁	
明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日	151	明治12年月1日6	172
郵便為替にて送金する			
糟屋			
明治〔 〕年10月4日	152		

県庁へ出頭すべし 明治〔12〕年2月18日 小島莊三出頭通知伝達依頼 同封 郡書記小島莊三宛神奈川県庁書翰 明治12年2月17日 登庁通知	171	神戸 龍二 明治15年5月14日 お金を融通してほしい 注 本文差出苗字は小川	186
明治13年2月13日 明治12年度協議費取調方催促	173	北井 要太郎 明治24年12月13日 輸出税全廃への尽力依頼 注 北井は相州改良社社長	187
明治〔 〕年1月15日（在大磯） 小野懐之十六等に採用	174	木邨 忠彦 明治〔14〕年〔8〕月〔31〕日 外字ノ惑（未脱稿） 注 学業を志すも意のままにならなかった心境を述べている	188
明治〔 〕年3月5日（在大磯） 真土村松木地所は海老塚四郎兵衛買取って後 村方へ買受けるよう話がすすむ	175		
金子 馬之助 明治14年7月2日 中島信行との随行は発病のため断念す	176	共伸社 明治15年2月14日 貸金返済請求書	189
金子 信平 明治〔 〕年12月4日 近況報告	177	葛貫 万兵衛 明治10年5月28日 小泉嘉平次辞令受領 注 葛貫は七小區戸長	191
金子 文輔 明治14年5月25日 矢吹善助について回答 明治〔 〕年5月21日（在大磯） 書画売却す	178 179	明治〔 〕年1月12日 乃木市之助いづれ到着する 明治〔 〕年4月11日 大沢氏封書の方は依頼す 山口氏の書翰未着 明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日 注 各村の有力者と思われる人物を列举	192 190 193
金田 敬親 明治10年1月14日 県庁奉職を祝す 明治10年3月20日 報知新聞昨日より送付される 明治10年5月19日 報知新聞購読期間について 明治13年1月31日 地方官会議に傍聴のため出京するものと思う がいかがか 明治14年12月3日 郡長辞職後は民間にて国事に尽力することを 希望す 明治〔 〕年3月15日（在横浜） 面会日変更	181 185 180 182 183 184	国子 明治〔 〕年2月12日 差引金額送付す 明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日 金員領収す	194 195
環節堂 明治〔 〕年1月19日（在横浜） 謝金を送り届けてほしい 明治〔 〕年6月30日（在横浜） 近況報告 明治〔 〕年11月29日（在横浜） 利子その他期日迄には間にあわぬ 明治12年3月14日 近況報告及び埼玉県紀行報告	814 815 812 813	熊沢 又造 明治14年7月26日 清水氏二男養子の件愚見 明治〔 〕年11月13日 奥州の件関係しないことにした〔種苗の件〕 明治〔 〕年11月26日 波山翁の揮毫依頼の件問合せ 熊沢 庸作 明治〔 〕年3月3日 面会にでかけたが逢えなかった 栗原 宣太郎 明治〔15〕年3月27日 昨日の出張を謝し 当地講学会開式を喜ぶ 慶応義塾出版社 明治15年1月28日 時事新報発兌広告	198 196 197 199 200 201

小泉 嘉平治		検疫のため出張する	
明治〔10〕年4月8日	202	注 小林は小田原警察署長	
此度の私の辞職に付厄介になる		明治13年1月3日	221
明治〔10〕年5月24日	203	交詢社発会祝詞	
辞職の件		注 差出名は大次郎だが筆蹟からここにおく	
明治〔10〕年6月19日	204	小早川 勝蔵	
迂生辞職一条種々御世話になり感謝す		明治14年6月7日	228
小島 壮三		臨時県会審議の模様	
明治14年9月10日	210	明治〔14〕年6月8日	223
県書記官より至急用の通知あり		県議会模様	
明治〔 〕年1月25日(在大磯)	206	明治〔14〕年7月31日	229
中島氏28日頃出発予定 小早川氏も明日手続き整う		県議会模様	
明治〔 〕年9月27日(在大磯)	208	明治15年1月1日	224
水車事件に付出張は差し支えない		新年挨拶	
注 小島は郡書記 飯岡頼重も連名差出		明治15年3月29日	225
明治〔 〕年11月9日(在大磯)	209	借金返済猶予願う	
郵便による新聞雑誌到着状況通知		小松 通時	
明治〔 〕年8月25日	205	明治〔12〕年8月27日	227
荆妻病氣中		買入金禄公債証書届出書式通知	
明治〔 〕年11月24日	207	同封	
妻の病氣について		〔金禄公債証書〕御届	
小島 信民		明治12年9月1日	
明治12年2月22日	211	注 小松は県出納課勤務	
郡書記大沢精一辞職に付賞詞伝達依頼		明治〔 〕年12月10日	226
注 小島は県大書記官		金禄公債利金に付実印持参すべし	
小島 □□		小宮 良庵	
明治〔 〕年8月7日	213	明治11年1月14日	230
〔歌一首〕		不本意の事相願う 頼る者なく助力願う	
小西 正蔭		明治11年1月26日	232
明治〔 〕年11月26日(在大磯)	216	金員工面願う	
柏木殿立石寄付請取		明治11年1月28日	231
明治〔 〕年1月7日	214	横浜へ出港したが逢えなかった	
新年挨拶		明治11年2月4日	233
明治〔 〕年7月7日	215	金員工面願う	
借金返送す		明治12年3月13日	234
明治〔 〕年10月2日	217	医学講習所の件わかり次第報告をほしい	
小西 正寛		注 小宮は東京大学医学部学生	
明治〔 〕年9月27日	218	肥塚 龍	
過般の御厚意に感謝す		明治15年2月18日	235
小林 省三		沢田君の住居制限は残念 県会議員はおもしろくないが是非立候補を望む	
明治〔 〕年10月3日	219	高麗 邦桓	
二宮貞勝は父快方次第同人社へ帰る		明治〔 〕年10月19日(在大磯)	236
小林 銓太郎		本郡書記が酒席で「真土村長右衛門ノ数例モアレハ 各位覚悟スル上ハ手輕キ事件ナリ」と述べたことを入聞す	
明治〔 〕年11月8日(在大磯)	222	河野 通倫	
戸塚分署詰も勤めがたい		明治〔13〕年6月13日	244
小林 大治郎		徴兵名簿加除取扱の件論告依頼	
明治12年9月22日	220	注 河野は県書記官	

明治 14 年 1 月 14 日 上申の趣不都合	245	佐田 正彦 明治〔 〕年 7 月 6 日 御話ししたき事あり 昇堂したい	253
明治 14 年 1 月 18 日 別紙本人に渡されたし 同封 左七郎宛県職務掛書簡 1 月 19 日 郡書記伊達時年賜金辞令書渡し方依頼	243	佐藤 喜左衛門 明治 12 年 10 月 30 日 旧助郷金の件承知した 注 佐藤は県七等属	254
明治〔 〕年 8 月 31 日（在大磯） 大磯近傍に設立の遊猟地の件	237	佐藤 里治 明治 24 年 3 月 17 日 実業上取調の儀に付参集願う 注 八巻九万・神野良・谷元道之も連名差出	256
交詢社 明治 13 年 1 月 7 月 発会式延期 入社登記済む 同封 常議員被選人姓名一覧	238	明治 24 年 12 月 5 日 鉄道問題相談したく集会通知	255
明治 13 年 1 月 24 日 釀金領収	239	佐藤 信政 明治 12 年 8 月 8 日 粗品送付した	257
明治 13 年 1 月 14 日 25 日発会式通知	240	明治 13 年 1 月 15 日 奉職中の御高配感謝す	258
明治 13 年 3 月 第 4 回大会案内	241	佐野 仲次郎 明治 10 年 1 月 12 日 上申書過日訂正して提出した	259
明治 14 年 3 月 16 日 常議員投票案内	242	明治 14 年 2 月 4 日 共伸社仮約書送付	260
国会新聞社 明治 24 年 11 月 21 日 国会開会中当社新聞呈上す	246	明治 15 年 2 月 12 日 講学会基金募集不可能	261
近藤 市太郎 明治〔12〕年 3 月 31 日 作助の病状 同封 大住海綾郡県会議員当選表	247	明治〔 〕年〔 〕月 27 日 旅費請求の件問合せ	262
明治〔15〕年 2 月 21 日 講学会を三月より開会に付沢田の行き先を知りたい	249	斎藤 善助 明治 12 年 1 月 17 日 新年挨拶	264
明治〔 〕年 6 月 4 日 利学開始に付書籍拝借したい	248	明治〔 〕年 3 月 13 日（在大磯） 掛軸物暫時御預り願う	265
近藤 陳郎 明治〔 〕年 2 月 6 日 小田原中学校卒業生を小学教員に採用の件問合せ 同封 左七郎宛中島信行書簡 4 月 23 日 地券面本籍の件	250	斎藤 リキ 明治 11 年 2 月 9 日 郡長就任祝詞	263
明治〔 〕年 4 月 16 日 小田原中学校臨時会欠席す	251	阪本 則美 明治 23 年 12 月 26 日 「実力政策」出版案内	266
近藤 彦三郎 明治 24 年 11 月 16 日 第六区調和会国府津で開催した 地価修正表 あれば借用したい 大隈伯辞職の感情は在野にて一問題となっている。	252	鮫島 友次郎 明治 28 年 11 月 4 日 訴件の始末いかが進行しているか	267
		沢田 正国 明治〔 〕年 11 月 22 日 もてなしに対する礼	283
		沢田 彌 明治 14 年 9 月 8 日 講学会規約草案送る	268

明治〔14〕年 9 月 22 日	275	脳病にかかり引籠る	
伊勢原に到着 明日来訪を乞う		島村 光太	
明治 14 年 10 月 13 日	269	明治〔 〕年 1 月 28 日 (在横浜)	291
ドル銀騰貴に付洋書購求も苦勞している		別紙通りに通達願う	
明治 14 年 10 月 18 日	270	注 別紙なし	
家事も片付いたので 20 日迄出発したい 依頼の人物については急に整いがたい		清水 清	
明治 15 年 1 月 10 日	272	明治〔 〕年〔 〕月 22 日	292
梶村の遅れ及び草間島田に関する報告		秦野地方人民種子請求本月中に差出す	
明治〔15〕年 5 月 6 日	273	清水 研圃	
曾屋村談話会		明治〔 〕年 2 月 18 日 (在大磯)	293
明治 15 年〔 〕月 27 日	271	津田幽園そちらへ向う	
29 日大磯駅へ着く予定		清水 愛子	
明治〔 〕年 3 月 5 日	277	明治〔 〕年 1 月 19 日 (在横浜)	294
大磯にて開会は愉快 矢名金日合併論けつ烈は穏やかならず		柚餅を陸軍へ送付した	
明治〔 〕年 4 月 1 日	278	注 清水愛子は清水正恭の妻で左七郎の姉	
曾屋の会員は期待出来る 梅原良は壮烈士なり		明治〔 〕年 1 月 22 日	304
明治〔 〕年 4 月 3 日	274	二十日には帰宅する	
草間時福の大阪行につき横浜へ見送りに行く		明治〔 〕年 1 月 23 日 (在横浜)	669
明治〔 〕年 4 月 5 日	279	金三郎横浜へ行く予定 金策は田畑を売却した方がよい	
種々話しあるので大磯へ出向願う		明治〔 〕年 1 月 29 日 (在横浜)	305
明治〔 〕年 4 月 7 日	280	加藤の申上げる事理解できない	
治産の道を専らにすれば主義立たず この社会の形状をいかに視察するか		明治〔 〕年 11 月 2 日 (在横浜)	301
明治〔 〕年 4 月 19 日	281	正恭の例の病氣はじまる 借財の件に付本月初めに是非立寄ってほしい	
細川氏到着 御光来を乞う		明治〔 〕年 8 月 12 日	300
明治〔 〕年 5 月 7 日	282	鹿東一条に付返答 瓦師本月末までに来てほしい	
沢田自身の悪評について		明治〔 〕年 9 月 12 日 (在大磯)	308
明治〔 〕年 11 月 6 日	276	芸妓のぶ吉一件	
辞して帰京を希望		明治〔 〕年 11 月 19 日 (在大磯)	310
沢野 房次郎		瓦の件はどうなったか	
明治〔 〕年 11 月 7 日 (在横浜)	285	明治〔 〕年 11 月 20 日 (在大磯)	311
小坪村衛生患者数報告		人足集まり次第片付ける	
明治〔 〕年 4 月 9 日 (在大磯)	286	明治〔 〕年 11 月 26 日 (在大磯)	312
県会模様		代料早々に送ってほしい 普請もあらまし出来あがった	
明治 15 年 1 月 5 日	284	清水 正恭	
接待を受け御礼を申し上げる		明治 8 年 1 月 18 日	295
篠崎 常孝		領収証〔二通〕	
明治〔 〕年 10 月 10 日	287	注 清水は義兄	
風邪気味ゆえ宿直辞退したい		明治〔9〕年 12 月 13 日	296
志波 庫吉		県庁出仕の事御勉勵を祈る 一大区長の任にたえる者なし	
明治〔 〕年 7 月 13 日	288	明治 10 年 1 月 7 日	297
父急病により保土ヶ谷に来ている		拝命の趣付書の通り〔付紙なし〕	
浅沢 栄一		明治 10 年 9 月 3 日	298
明治 23 年 12 月	289	弊屋火災を免れた	
商法施行延期請願書途付通知		明治〔 〕年 11 月 23 日 (在横浜)	302
島 好篤			
明治 12 年 9 月 5 日	290		

当県土族銀行加入の件房総助郷滞金一条報知 を謝す		明治 24 年 6 月 18 日 倶楽部維持費決議通知	323
明治〔 〕年 12 月 15 日（在横浜） 金員持参せず申し訳ない	303	明治 24 年 7 月 1 日 緊急の件に付参上依頼	325
明治 11 年 12 月 20 日 集金は周旋中 同封 左七郎宛作助書簡 12 月 2 日 上等裁判所への答書調印すんだ おりんの 合羽の件心配ない 左七郎宛麻生今助書簡 明治 11 年 12 月 12 日 金員の算段よろしく頼む	299	明治 24 年 7 月 5 日 倶楽部維持費受領 明治 24 年 7 月 26 日 議員党派別表送付〔別表なし〕	326 327
明治〔 〕年 6 月 17 日（在大磯） 小西氏との談判も行き届かない	306	明治 24 年 8 月 17 日 自由倶楽部ト自由党トノ合同問題ニ付声明 自由倶楽部運動方針協議に付召集通知	324
明治〔 〕年 8 月 4 日（在大磯） 相談あって小泉方へ出向いたが不在 同封 左七郎宛清水愛子書簡 8 月 2 日 約束の相談殊の外むづかしい	313	明治 24 年 9 月 13 日 総会決議録作成通知 倶楽部南佐久間町へ移 転	328
明治〔 〕年 12 月 11 日 拝借金送付した 同封 左七郎宛清水愛子書簡 12 月 11 日 借入金心がけて返済する	314	明治 24 年 10 月 7 日 倶楽部維持費受領 明治 24 年 11 月 13 日 協議会開催通知 明治 24 年 11 月 16 日 懇親会開催通知	329 330 331
明治〔 〕年 12 月 14 日 紙面の趣委細承知した	315	明治 24 年 11 月 18 日 出席依頼 明治 24 年 11 月 20 日 打合会開催通知 明治 24 年 11 月 22 日 緊要問題決議会開催通知	332 333 338
清水 義雄 明治〔 〕年 10 月 22 日（在横浜） 教員試験周旋に付御礼 明治〔 〕年 10 月 25 日（在横浜） 依頼の件是非返簡を待つ 明治〔 〕年 12 月 3 日（在横浜） 教員試験受験することに決定	317 316 318	明治 24 年 11 月 26 日 事務所出頭依頼 明治 24 年 11 月 27 日 緊急勅令問題に付協議会開催通知 明治 24 年 11 月 29 日 交渉委員選挙通知 明治 24 年 12 月 1 日 出席依頼 明治 24 年 12 月 2 日 集会開催通知	339 340 344 335 336
清水 要 明治〔 〕年 2 月 28 日 母に申し上げた件の詳細は拝顔の節に話す	319	明治 24 年 12 月 5 日 緊急勅令問題に付協議会開催通知 明治 24 年 12 月 6 日 予算方針の件及び東京湾海防の件に付集会	341 342
自由党本部 明治 15 年 4 月 21 日 弁士依頼につき末広重恭が承諾	320	明治 24 年 12 月 11 日 委員会出席依頼 明治 24 年 12 月 12 日 最緊要な問題に付協議会開催通知	343 344
自由倶楽部 明治〔24〕年〔5〕月 自由倶楽部の将来の見込について 明治 24 年 5 月 11 日 「第一期国会議場ニ於ケル運動ノ始末」刊行 事情及び同書購入残金返送通知 明治 24 年 5 月 14 日 「第一期国会議場ニ於ケル運動ノ始末」再版 通知	321 337 322	明治 24 年 12 月 15 日 協議会開催通知 明治 24 年 12 月 18 日 交渉委員会の結果により集会開催 明治 24 年 12 月 22 日 事務所にて集会開催通知	345 346 347

明治 24 年 12 月 25 日 事務所にて集会開催通知	349	注 斎藤七左衛門 平川徳五郎 福島治兵衛 新倉奎左衛門連署	
明治 24 年 12 月 27 日 両国二州楼にて民党代議士懇親会開催	348	関島 宇兵衛	
明治 24 年 12 月 27 日 板倉氏宅参集依頼	350	明治 15 年 1 月 2 日 新年挨拶	365
湘南社幹事 明治 15 年 1 月 湘南社規則書修正可決	351	明治〔 〕年 4 月 9 日 黄金井伝四郎貸金証判の件高瀬董七郎訴訟す ると伝聞す	366
新藤 治右衛門 明治〔 〕年 10 月 28 日 (在大磯) 職務遂行の件に付心配かけて恐縮に思う	352	明治〔 〕年 5 月 12 日 御紙面の件その後模様わからず	367
杉本 甚兵衛 明治〔 〕年 4 月 6 日 拝借金詰りに付工面つかず	353	明治〔 〕年 7 月 30 日 郡用罫紙残部数	368
明治〔 〕年 4 月 24 日 貴家名義にて共伸社よりの拝借金返済都合つ かず	354	明治〔 〕年 8 月 31 日 黄金井伝四郎の件に付高瀬董七郎と面談す	366
明治〔 〕年 4 月 26 日 証書送付	355	明治〔 〕年 9 月 12 日 今夕御逢いしたい	370
明治〔 〕年 5 月 21 日 是非御光来を待つ	356	瀬戸 勘助 明治〔 〕年 10 月 30 日 内金送る 同封 〔返金〕覚	371
杉山 恒吉郎 明治 15 年 1 月 2 日 新年挨拶 入校決定	357	添田 知通 明治〔 〕年 5 月 24 日 (在大磯) 改租地引野帳取纏めて県庁へ送付されたし	372
杉山 泰助 明治〔 〕年 4 月 12 日 (在大磯) 福井君も大磯へ向う	359	曾祢 荒助 明治 24 年 7 月 11 日 清国軍艦定遠号での懇親会開催案内 注 裏書差出は自由クラブ 曾祢は衆議院書 記官長	373
明治 17 年 2 月 19 日 別紙を回送する 同封 杉山・山口宛近藤陳郎書簡 明治 17 年 2 月 12 日 小田原中学校の件照会	360	明治 24 年 11 月 11 日 横須賀造船所見学会開催通知	374
明治 17 年 3 月 13 日 16 日集会よろしく御配慮願う 協議費見込額 その際持参する 同封 郡中学委員宛小田原中学校監事書簡 明治 17 年 3 月 7 日 本校通常会開会通知 明治 17 年 2 月定期試験表	361	田代 富八郎 明治〔 〕年 2 月 17 日 (在横浜) ねまきにても宜しいから是非拝借したい 注 裏書差出は富造	375
明治〔 〕年 3 月 24 日 芦川勇蔵の掛金扱いの件	362	田中 作蔵 明治〔 〕年 11 月 17 日 大麦相場	377
鈴木 寿太郎 明治 17 年 2 月 11 日 昨年発企の牛乳会社破産す	363	田中 与行 明治〔 〕年 6 月 7 日 (在大磯) 帳簿紛失した	378
鈴木 吉右衛門 明治 15 年 2 月 10 日 松木一件巨魁冠弥右衛門放免帰村に付上申	364	明治〔 〕年 1 月 28 日 到来品贈る	376
		伊達 時 明治 10 年 3 月 4 日 民選論について一昨年草稿作成した	379
		明治 10 年 3 月 15 日 今日典籍上の論議は席上の游泳を学ぶことにな る	380

明治 10 年 4 月 11 日	381	明治〔15〕年 4 月 10 日	394
病気通知		湘南社一条準備整う 板垣氏凶変 改選の節	
明治 10 年 5 月 29 日	382	怠たるなかれ	
互全巡行調査をしている		明治 15 年 4 月 14 日	408
明治 10 年 6 月 7 日	383	板垣公不時の難にあう	
大越氏一件了解す		明治〔 〕年 1 月 17 日	402
明治 10 年 6 月 11 日	384	自由党本部より長坂一郎出席の連絡あり	
高島藍泉宅での懇談報告		明治〔 〕年 4 月 5 日	403
明治 10 年 6 月 23 日	385	湘南社例会余程盛会なり	
故郷へ帰る要事ができたが実家へ用事があれば聞いておく		明治〔 〕年 4 月 24 日	404
明治 10 年 7 月 8 日	386	例会 30 日大磯にて開催す 県吏も学術なれば	
大越氏への証書は本人へ渡した		届け出もいらずと言う	
明治 10 年 7 月 9 日	287	明治〔 〕年 5 月 19 日	409
足柄県出身人の就職依頼		15 日入京それより府庁へ昇り拝命す	
明治 10 年 8 月 10 日	288	明治〔 〕年 9 月 2 日	410
埼玉県出張を命ぜられ面会もできなくなる故		ブランデー・ビールを贈る	
花火大会見物ついでに来てほしい		明治〔 〕年 9 月 21 日	395
明治 10 年 12 月 18 日	389	平素の無音を詫る	
金件一条について		明治〔 〕年 10 月 28 日	412
明治 11 年 2 月 5 日	390	安産祝い	
小宮氏へ託すは無用		伊達 彰民	
明治 11 年 6 月 2 日	391	明治 13 年 9 月 27 日	413
所要ありて地方へでかける		宿所通知	
明治〔 〕年 2 月 21 日（在横浜）	396	明治 14 年 1 月 20 日	414
平民名称論民会論の草稿あり		住所変更通知	
明治〔 〕年 9 月 2 日（在横浜）	397	明治 14 年 1 月 28 日	415
郷里に事故あり帰郷す		学資金受領した	
明治〔 〕年 9 月 12 日（在横浜）	411	高木 喜一郎	
印鑑発程の際持参願う		明治 13 年 9 月 28 日	416
明治〔 〕年 10 月 2 日（在横浜）	398	藤田茂吉へ演説依頼す	
相州地方絶て無音なり		明治 15 年 1 月 2 日	435
明治〔 〕年 11 月 8 日（在横浜）	399	新年挨拶	
県下では金納になるか米納になるか回答を求む		高橋 太三郎	
明治 13 年 8 月 21 日	392	明治 12 年 10 月 6 日	417
箱根塔の沢にて福沢先生に面会す		懇話の一条辞退したい	
明治 14 年 8 月 26 日	400	高島 藍泉	
10 日に演説会を傍聴		明治 10 年 1 月 16 日	418
明治 14 年 9 月 9 日	401	骨董書画の定価の件	
県会における監獄費審議の件		明治 10 年 4 月 24 日	420
明治 14 年 10 月 28 日	393	長君の画の件出府の節相談す 新聞会計の件	
講学会については大変配慮した		重々恐縮す	
明治〔 〕年 7 月 2 日（在大磯）	405	明治 10 年 7 月 4 日	421
一家愁傷中の為の無沙汰をわびる		違約をわびる	
明治〔 〕年 11 月 27 日（在大磯）	406	明治 10 年 7 月 13 日	422
病気の為試験延引した		柳園へ画売却の件	
明治 15 年 1 月 28 日	407	明治 10 年 8 月 5 日	423
末広・大石氏 29 日曾屋村来着す 講学会の件		時候挨拶	
相談したい		明治 11 年 2 月 2 日	419
		鹿児島突出再戦の場合金円拝借したい	

明治 11 年 2 月 4 日 願の一件返事を待つ	424	明治〔 〕年 9 月 11 日 (在大磯) コレラ病者繁茂す	443
明治〔 〕年 1 月 11 日 (在横浜) 依頼の名刺できあがる	426	明治〔 〕年 12 月 13 日 (在大磯) 拝借金は清水久へ渡した	444
明治〔 〕年 2 月 4 日 (在横浜) 返翰到来	428	同封 領収証	
明治〔 〕年 2 月 13 日 (在横浜) 本社の件御心配をいただき感謝す 伊達と三人で相談したい事がある	427	明治〔 〕年 12 月 13 日 (在大磯) 松原周永なる医師の件	832
明治〔 〕年 10 月 27 日 (在横浜) 伊達と土族の商法を開業に付多忙	430	妻木 狷介 明治 12 年 9 月 17 日	446
明治 14 年 6 月 17 日 滞京中御構い申し上げず失敬	425	13 年の徴兵議員選出すべし 注 妻木は県庶務課長	
明治 14 年 11 月 27 日 近々辞職との事うらやましく思う	431	明治 12 年 12 月 27 日 県会議員有権者名簿作成依頼	447
明治〔 〕年 9 月 7 日 結婚に付助言	429	明治〔 〕年 10 月 21 日 (在大磯) 郡役所転宅の件さしつかえない	445
高島 瓶三郎 明治 11 年 8 月 3 日 エレクトリックペンの使用具合報告 石版器械価格通知 注 高島は東京府衛生課統計掛	432	明治〔14〕年 12 月 16 日 福井氏辞職	448
明治 14 年 1 月 4 日 新年挨拶	433	鶴屋 勘左衛門 明治〔 〕年 7 月 12 日 勘定すみ次第証書送付のつもり	449
明治〔 〕年 12 月 3 日 勝海舟の短冊が売りに出ている	434	寺西 理三郎 明治〔 〕年 6 月 14 日 御父上其後の経過も良好安心している 少々借金したい	450
武田 平兵衛 明治 12 年 6 月 真土事件前後の村政実情上申	436	伝吉 明治〔 〕年 11 月 24 日 (在横浜) 紙屋より昨夜天馬ヶ原にて召取るの話しあった	451
武林 明治 13 年 9 月 15 日 軍用銃所持の者出頭する様通達願う 注 武林は木曾分署勤務	437	東京横浜毎日新聞社 明治 13 年 9 月 27 日 購読料支払い督促 明治 14 年 12 月 16 日 購読料支払い督促	452 453
竹内 綱 明治 24 年 12 月 14 日 委員会開催通知 注 竹内の肩書は直税分署間税分署廃止上奏案審査特別委員長	438	洞昌院 明治 21 年 7 月 9 日 宗源寺例月安楽寺入仏式見舞金出金依頼	454
竹村 鯛平 明治〔 〕年 7 月 26 日 貴家退散後江ノ島鎌倉見物す	439	常盤 重吉 明治〔 〕年 11 月 21 日 (在大磯) 瓦の儀およそ 1200 枚となる	455
龍野 周一郎 明治〔 〕年 12 月 10 日 蚕種検査法成立反対代表者紹介	440	徳之 明治〔 〕年 2 月 29 日 書簡拝読した	456
津田 幽圃 明治 12 年 10 月 22 日 関本集会の節の御厚意に感謝す	441	徳富 猪一郎 明治 23 年 3 月 18 日 政費節減に関し御高見をうかがいたい	457
明治 12 年 11 月 25 日 中村氏より返金あった	442	鳥海 周次郎 明治 17 年 1 月 30 日 お金受領した	458

同封		明治〔 〕年2月10日（在大磯）	481
借用証		地所買入れ依頼	
明治〔 〕年3月31日	830	明治〔 〕年3月12日（在大磯）	485
梅木を送ってほしい		売地購求の件	
明治〔 〕年9月25日	459	明治〔 〕年3月13日（在大磯）	483
印形を返却する		地所買入れ依頼	
内藤 誉三郎		明治〔 〕年12月29日（在大磯）	486
明治17年6月2日	460	父死亡により前納不能	
17年度経費予算の件に付集会通知		明治15年1月6日	476
中川 良知		大阪立憲政党的の請い黙止し難し 沢田氏と共に講学会発展を望む	
明治13年6月20日	461	明治〔15〕年11月16日	477
県会議事報告 民権運動の活版摺物の扱いについて		地所売却米代予算書届いた 県会議員当選を聞き及ぶ	
明治13年11月21日	462	明治〔15〕年11月18日	478
中島信行巡回予定 平塚開校式は25日		杉山氏宅放火されたと伝聞 実否いがか	
明治14年6月4日	463	窮民暴挙人心慰安の策を問う	
高木喜一郎招料醸金受領		明治16年2月9日	479
明治〔 〕年4月11日	464	大磯にて逢いたい	
委細承知した		明治〔23〕年3月23日	484
明治〔 〕年9月29日	465	地租領収証至急送付願う	
本日高木到着予定 開業の節はできるだけ盛大にしたい		明治〔 〕年1月1日	480
明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日	466	地所を売却したい	
愛甲郡有志天野一泊す 上郡より始めれば都合が良い		明治〔 〕年2月13日	482
注 左七郎伊達時兩人宛		費用及び委任状送付した	
明治〔 〕年11月6日	467	明治〔 〕年5月26日	487
関八連合一条について		昨日青木町に到着 しばらく滞在す	
中島 信行		明治〔 〕年7月19日	488
明治〔12〕年11月7日	468	宿泊依頼	
帰路立寄るつもり		明治〔 〕年4月17日	489
明治12年12月8日	469	お金の都合願う	
箱根からは海路のため立寄れない 地所買入れの件相談したい		明治〔 〕年5月4日	490
明治13年1月14日	470	横浜市会選挙一条は御高論参考となる 神奈川通信所は神奈川倶楽部と改称したい	
地所買入の件依頼		明治〔 〕年5月17日	491
明治13年1月21日	471	熱海よりの帰途大磯に立寄る	
売地買入れは一村一か所に限らない		明治〔 〕年8月26日	492
明治13年6月20日	472	南神保町へ移転 笠窪村地所売却書類の件	
滞在礼状		明治〔 〕年12月13日	494
明治14年7月19日	473	熱海よりの帰途伊勢原に逗留	
沢田氏処遇条件		中島 俊子	
明治14年8月29日	474	明治23年11月30日	499
北越行は所労のため見合せる 土地購入の件		相談の付逐一伝えた	
明治〔14〕年9月4日	493	注 俊子は信行の妻	
講学会規則案送る		明治27年3月17日	500
明治14年11月18日	475	所得納入地届書取り計らい依頼	
藤沢懇親会に出席した 大阪より帰って会いたい		同封	
注 表書差出は打村鹿		所得税納入地届	
		明治〔 〕年3月16日	498
		衆議院議員選挙で必要に付納税領収証送付依頼	

明治〔 〕年4月24日 今年の所得納入地届の件依頼	495	明治〔14〕年11月18日 貴君辞職の事聞き及ぶ	507
明治〔 〕年10月12日 金70円受領	496	明治〔 〕年1月4日(在大磯) 戸長辞職の件考えるとところあり	518
明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日 畑地所得は差し引き95円余り 前年所得送付されたい	497	明治〔 〕年1月11日(在大磯) 郡長召集に付貴庁へ立寄る	508
中島 久万吉		明治〔 〕年1月13日(在大磯) 懇親会開催の件愛甲へも照会したが回答ない	519
明治34年7月11日 小作米代勘定方法を知りたい	501	明治〔 〕年1月17日(在大磯) 親睦会日時場所決った	543
明治34年7月20日 小作米代送金依頼	502	明治〔 〕年1月21日(在大磯) 小田原中学校の件種々異論でている 津久井	509
明治34年12月4日 土地売戻しの件伊達氏にも話した	505	明治〔 〕年1月29日(在大磯) 愛甲は県立を望む	520
明治〔 〕年11月14日 地所処分は財産統一が主眼 日本銀行に関する依頼一条承知した	504	明治〔 〕年1月29日(在大磯) 中学一件についての会議先ず大磯で開く	521
明治〔 〕年11月19日 米売却代金領収 比々多村地所は先代よりの関係で厄介になっている	503	明治〔 〕年2月14日(在大磯) 県出納課員本郡出張に付貴郡へ行けない 中学校改称の件衆議のとりまとめをたのむ	522
中野		明治〔 〕年2月24日(在大磯) 廻達書控書式の付	510
明治〔 〕年12月14日 商法延期について意見をうかがいたい	506	明治〔 〕年2月24日(在大磯) 民費調方法の件問合せ	523
中村 舜次郎		同封	
明治〔 〕年1月21日(在横浜) 招魂碑位置も小田原松原神社と決め上申した 注 中村は足柄上郡長	511	左七郎宛中村書簡 2月22日 庁内事務分掌に付愚案を示す	
明治〔 〕年7月6日(在横浜) 質入書入手続きの件問合せ	512	明治〔 〕年3月16日(在大磯) 郡長事務章程中改正案について	548
明治〔 〕年8月16日(在横浜) 病気全快次第出庁す	513	明治〔 〕年3月19日(在大磯) 宿直仮規則異存ない 事務章程中の疑義点に付庶務課長より回答あり 県会出席の節立寄る	549
明治〔 〕年12月27日(在横浜) 12等出仕を祝す	540	明治〔 〕年4月10日(在大磯) 書記一員増加予定あるが郡内霜害のため上申せず	526
明治11年12月24日 第165号布達に関し郡長召集	538	明治〔 〕年4月27日(在大磯) 国税金預り人の件三井組の書面では不都合	527
明治〔11〕年12月27日 第165号布達の件伺	539	明治〔 〕年5月1日(在大磯) 和製摺物器械でよいから取り寄せてほしい	528
明治12年2月7日 民費請求書取り扱い方法の件	514	明治〔 〕年5月12日(在大磯) 江の島懇親会は上京遊歴予定のため欠席する	550
明治12年10月10日 帰途12日に逢いたい	515	明治〔 〕年5月27日(在大磯) 眼病いまだなおらず 指令類施行別表の通り	551
明治〔14〕年3月22日 20日の親睦会公用にて欠席す 国会論主唱者の檄文の写御回し願いたい 弊郡も近々有志勃起す	525	明治〔 〕年5月29日(在大磯) 東京見物の様子 江の島親睦会には中川福井	546
明治14年6月5日 6日か7日面会を希望す	516	山口出会したと聞く	
明治14年11月17日 県令交代に付郡区長集會す	517		

明治〔 〕年7月11日(在大磯)	529	明治〔 〕年1月26日	560
15日各郡長召集に付出張す		小田原中学校の件集会承知	
明治〔 〕年8月22日(在大磯)	530	明治〔 〕年1月29日	561
故研圃追福書画会は9月8日と決定		中学校改称衆議否決	
明治〔 〕年9月6日(在大磯)	552	明治〔 〕年10月31日	562
郡役所移転の件問合せ 郡連合会規則いまだ裁可なし		小田原中学校について本郡の異見	
明治〔 〕年9月14日(在大磯)	531	中溝 昌弘	
県会における監獄費結論に至らず		明治〔14〕年12月2日	554
明治〔 〕年9月16日(在大磯)	553	御辞職に際し在職中の御懇命を謝す	
弊郡コレラ流行 死者77名		中山 信明	
明治〔 〕年9月21日(在大磯)	533	明治12年7月3日	564
同盟会会員五十余名 演説会も盛会		伺書写は足柄上下郡へも回送したい	
明治〔 〕年9月21日(在大磯)	532	明治〔 〕年6月27日(在大磯)	566
親睦会入費は当郡同盟者は残らず出金す		中学校一件なんとかいたしたい	
明治〔 〕年10月7日(在大磯)	534	明治〔 〕年12月8日(在大磯)	565
教員採用の件了承した		戸長配置の件については同感す	
明治〔 〕年10月12日(在大磯)	535	長尾 忠造	
県会の様子わかったら教えてほしい 地券確認の捺印は公印を用いるべきか		明治13年7月13日	567
明治〔 〕年11月29日(在大磯)	536	無益なれど一書拝呈す	
堀江氏一件		注 左七郎福井直吉兩人宛	
明治〔 〕年12月1日(在大磯)	537	長尾 長左衛門	
連合会規則送付す		明治13年10月	568
明治〔 〕年12月10日(在大磯)	524	戸長就任の件尽力を要請す	
研圃書画会大雄山入費へ送付した		明治〔 〕年3月13日(在大磯)	569
明治〔 〕年〔 〕月15日(在大磯)	541	愚弟徴兵に際し尽力を感謝す	
約束通り到着に付来訪を待つ		明治〔 〕年5月5日	570
明治19年1月26日	542	□□会開会に付来会を願う	
連合町村会開会の件		長尾 和吉	
明治〔 〕年2月21日	544	明治〔15〕年4月21日	571
諸営業人実際調査の件		板垣君遭難厝間に際し卑名を列し感謝す	
明治〔 〕年3月1日	545	長尾 利彦	
県立専門学校設立の件		明治14年12月5日	572
明治〔 〕年3月11日	547	御申越しの図書は一部も所蔵していない	
面談したいが病氣や共立中学通常会で不可能		長峰 浅吉	
中丸 稲八郎		明治22年1月24日	573
明治14年1月21日	555	サンフランシスコより新年を賀す	
至急の要出来て約束を破ったこと陳謝す		明治23年1月6日	574
注 中丸は愛甲郡長		新年挨拶	
明治〔 〕年1月14日(在大磯)	556	成田 剛蔵	
書画会配当物50枚 ちらし60枚送る		明治12年12月1日	575
明治〔 〕年6月21日(在大磯)	563	興に乗じ不敬を極め御海容願う	
貴郡事務章程到着 町村会議規則草案貴覧にいれる		二宮 貞勝	
明治〔 〕年6月30日(在大磯)	557	明治10年5月19日	576
国民軍取調べの件		医学貢賦生選考取扱い	
明治〔 〕年12月8日(在大磯)	558	明治〔 〕年5月29日(在横浜)	579
小田原出張の際の繰替會計送付した		伊達氏は当時疲弊殊に其入る財なし	
明治〔 〕年12月27日(在大磯)	559	明治〔 〕年12月8日(在大磯)	580
警察署発意の懇親会は延期		子供誕生	

明治〔 〕年5月20日	578	野村 靖	
桑買付の件御世話になる		明治12年10月10日	599
明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日	577	徴兵下調係官の各郡出張廃止の件	
小早川勝蔵小区引継ぎ終了 松本祐太郎御沙汰次第勤務する 自分は病気により出勤できない 木谷退職強いて引留める必要ない		明治12年11月21日	598
		郡役所一ヶ年職務勲励抜群の者賞与の件	
二宮 貞節		明治〔 〕年4月10日	596
明治10年2月11日	581	今福一条に付福井・中川へ内談したき事ある	
今般十二等にて県庁勤務大慶に思う		明治〔 〕年4月18日	597
明治〔 〕年9月10日(在横浜)	582	今福一条水泡に帰す	
塾一件に付種々御世話をかけた 明日入学す		原 善三郎	
明治〔 〕年8月21日(在大磯)	587	明治13年5月6日	601
御見舞御礼		委任状送付	
明治〔 〕年5月18日	584	明治〔 〕年3月15日	602
依頼の桑の件問合せ		中島信行氏地所売買地券書換え取扱方問合せ	
明治〔 〕年6月13日	585	明治〔 〕年4月9日	603
姉上様に御世話したき事ある		中島信行氏地所売却書調印戸長へ依頼す	
明治〔 〕年〔 〕月16日	583	原 嘉道	
帰京したので小林間宮両君へ宜しく伝えてほしい		明治〔 〕年4月4日	604
明治〔 〕年〔 〕月25日	586	契約書の件問題ない 貴所事件処理についての時間の件了承	
依頼された書簡届けた 間宮氏中国巡回より未だ帰京していない		八十老	
西尾 作吉		明治〔 〕年10月14日	605
明治〔 〕年3月14日	588	急用にて横浜大岡へ出張す	
近況報告		比留川 尚卿	
西村 捨三		明治22年11月4日	607
明治24年12月4日	589	庄之助資金の儀 地所所有者へ預ける約束だが回答なし	
24年度総予算追加乙号送付通知		明治22年3月17日	606
注 西村は農商務次官政府委員		庄之助資金預ける予定だが確定の安否不明	
日本諸新聞切抜通信社		明治27年4月8日	608
明治24年3月16日	590	庄之助の母の件回答なし	
〔県会議員が山口の紹介で三大請願したことの新聞切抜記事〕		比留川 尚彦	
明治24年12月5日	591	明治〔30〕年3月24日	609
〔「米商会所に係る質問」の切抜記事〕		庄之助の家整理尽力に感謝す	
明治24年12月12日	592	兵藤 芳雄	
〔「実業協会の代議士」の切抜記事〕		明治12年12月17日	610
野沢 金七		靴借用御礼	
明治41年4月15日	593	二見 松太郎	
登記所へ出頭できなかった事御許しを願う		明治22年4月22日	611
明治41年4月15日	595	高部屋村会議員当選通知	
畑地名儀書替の尽力に感謝す		明治22年4月29日	612
明治41年4月19日	594	高部屋村吏員選挙告示未だなし	
書留郵便受領		深谷 尚弁	
野原 享吉		明治〔 〕年3月1日	615
明治12年10月29日	600	庄之助宅地の件御厚配感謝す 当地は十か年明けならずば取り戻しの権利なしとの事	
郡庁在職中の御礼		明治〔 〕年3月22日	613
注 県租税課勤務		山口勝太郎宅地売却に付 庄之助実印の件同封	

左七郎宛深谷尚弁書簡 明治〔 〕年3月22日 庄之助宅地事件種々御配慮感謝す 明治〔 〕年12月19日 山口勝太郎宅地売却の件出訴す	614	明治24年1月11日 大住洵綾両郡合併について愚案 明治〔 〕年2月20日 至急返事求む 明治〔 〕年8月20日	628 630 632
福井 源二郎 明治15年1月25日 講学会資金方法書調印は悴（直吉）不在に付 宜しく取り計らってほしい	616	福家 昌吉 明治〔 〕年2月23日 諸商業売上高調査の件 注 福家は県租税課五等属	635
福井 直吉 明治13年12月21日 備荒儲蓄案廃案に至る県会顛末報告 明治13年12月25日 備荒儲蓄法案 審議の上廃案となる 明治14年8月24日 湘南社創立会は盛会と伝聞す 明治14年9月29日 県会補欠議員は佐野氏辞退に次点者繰りあげ 当選 県会模様 明治14年12月29日 県書記官より辞令書返却された この件に付 相談したい 明治17年3月5日 中学校設立主体の件に付意見	617 618 619 620 621 622	報知新聞社 明治12年5月1日 新聞購読料領収 星崎 孝太郎 明治13年7月26日 宝翰投与に感謝す 穂積 敬重 明治10年5月18日 玉川上水縁敷地の件回答 注 穂積は東京府土木掛 北海道大有社東京出張所 明治13年6月17日 会社加入促進依頼	638 639 637 640
福島 治兵衛 明治〔 〕年8月16日 山本初め四名前夜集まった 明治15年1月10日 横浜海老塚より新聞社設立上申の件通知あり	623 634	堀江 周治郎 明治10年3月16日 西南事件地へ出発す 堀江 弥八 明治21年12月17日 サンフランシスコ到着後は勉強労働に励んで いる 明治22年1月12日 新年挨拶 明治22年6月23日 近況報告	641 642 643 644
福住 正兄 明治〔 〕年5月9日（在大磯） 念願の一条 鈴木新左衛門氏により上申 明治〔 〕年10月3日（在大磯） 報徳会規則下案受取る 明治〔 〕年9月14日（在大磯） 親睦会開催可能となる 明治〔 〕年8月15日 報徳演説会の件 明治14年9月16日 故吉岡翁霊祭執行 同封 吉岡信之翁霊祭広告 明治〔 〕年7月10日（在大磯） 執徳社の件 同封 添田宛山口書簡 5月19日 福住九蔵が御逢いたいとのこと 明治23年8月30日 出版計画の件	624 625 626 627 629 631 633	本多 勝三郎 明治13年10月8日 上申にあたっての書面の作成費用について知 りたい 本多 静直 明治13年2月1日 註文の書籍は通運会社より送る 本多 禄太郎 明治〔 〕年12月6日（在大磯） 役場印不出来につき返送を求む 本間 重貞 明治12年9月12日 在任中の厚情を感謝すまた雇でもよいから採 用してほしい	645 646 647 648

間部 輝多		都合をつけて一寸立寄ってほしい	
明治13年7月22日	649	明治〔 〕年6月21日(在大磯)	831
相談したきことあり		金円少し工面してほしい	
間宮 金三郎		明治〔 〕年7月2日(在大磯)	663
明治〔10〕年1月9日	650	少しは立寄ってほしい	
面談したきことあり		明治〔 〕年7月13日(在大磯)	307
同封		此度の借用は嘘もこしらえ難い	
左七郎宛姉書簡		明治〔 〕年9月20日(在大磯)	309
1月8日		日頃の種々の御世話に感謝す	
昨年一寸申上げた一条に付相談したい		明治〔 〕年11月15日	665
明治11年1月23日	651	久しぶりに会えて嬉しかった	
返信料払い済み		間宮 梅翁	
明治〔 〕年2月6日(在横浜)	655	明治〔8〕年10月1日	676
昇任を祝す 返金都合をつけてほしい 内密		おまき殿男子出産大慶なり	
に願ひ上げた勤務地宜しく取りはからってほ		明治〔8〕年10月13日	675
しい 亡父の法事終了した		安産大慶	
明治〔 〕年6月14日(在横浜)	652	明治〔8〕年11月18日	674
養蚕業の実情 横浜方面糸相場問合せ		安産にて二人共丈夫	
明治〔 〕年8月19日(在横浜)	654	同封	
糸相場高値になる見込みない 田代英助は家		左七郎宛高橋のぶ書簡	
出した		結構なものの贈呈に感謝す	
明治〔14〕年11月28日	653	明治〔 〕年5月16日(在横浜)	673
米価追々高価になる 小作取立方不都合の時		申越しの件承知 意外の実価に困り入る	
は正荷借入もよい		明治13年1月20日	670
明治〔 〕年7月12日(在大磯)	657	瓶三郎順天堂病院へ入院させる予定 津田仙	
清水の金銭の取扱方		氏依頼の品廻送してほしい	
明治15年4月12日	656	明治〔 〕年1月	672
亡母一周忌に付御来臨を乞う		新年挨拶	
明治〔 〕年12月18日	658	明治〔 〕年1月7日	671
周治郎の金円領収 金納は来月取立てる		新年挨拶	
間宮 信行		益田 勘右衛門	
明治10年1月31日	659	明治〔 〕年12月18日	677
煙草入その内届ける		御用達の儀返済済み	
間宮 母		注 表書差出は鶴原勘右衛門	
明治10年11月〔 〕日	661	増田 知	
環節堂宛間宮隠居の借用書		明治12年12月24日	678
同封		旧学区の旧の冠称に付回答	
間宮母宛環節堂貸借差引書		注 増田は県学務課長	
11月11日		明治〔 〕年2月18日	681
明治〔10〕年11月24日	664	学区補助への増給暫時保留	
環先生借入金差引精算した		明治〔 〕年11月8日(在大磯)	679
明治〔 〕年2月27日(在横浜)	666	中学校開設の儀承知した	
来月しめ引きへでかけた折 逢いに行く 内		松尾 美朗	
々の一条決して書状に掲記しないほしい		明治〔 〕年12月3日	682
明治〔 〕年2月28日(在横浜)	667	県よりの放費支出を要求	
横浜へも一度出かけたが 還先生本月上京し		注 松尾は県地租改正掛 山口の肩書は地	
た		租改正掛総代人	
明治〔 〕年1月24日(在大磯)	662	松本 寛一	
新年挨拶 夜番いかなっているか		明治14年3月22日	683
明治〔 〕年6月24日(在大磯)	668		

馬公亮依頼 注 松本は県庶務課勤務 明治14年3月31日 官馬預り主周旋に礼を申し上げる 明治14年4月13日 官馬の件感謝す 明治14年7月6日 通運会社より馬代金送付した 明治〔 〕年〔 〕月7日 競馬に関し昼夜なし 登馬の儀日増強壮に成る	684 685 686 687	東京弁士の件に付不平を唱えるものあり 明治〔 〕年9月26日 沢田氏出張するが子供病気で参上できない 溝呂木 甲子太郎 明治12年8月22日 愚母より申越しの件返事を待す 溝呂木 環 明治〔 〕年3月23日 明朝お逢いしたい 注 山口の肩書は五郡中学委員 明治〔 〕年3月23日 中学校資本金の件了承す 明治〔 〕年3月24日 御談示の件談判した	698 699 701 702 703
三角 徳次郎 明治13年6月15日 図書見積書 同封 山口宛三角書簡 6月15日 見積書送付通知 注 三角の肩書は丸善書店 明治〔13〕年6月26日 書籍運送会社に依託して送付した 同封 山口宛丸屋善八書簡 書籍代請求 明治〔 〕年4月8日 「社会平権論」代金領収 ルーソー民約論は品切れ	688 689 690	溝呂木 明治〔 〕年7月15日 過日の要件は別紙に記載す〔別紙なし〕 宮代 謙吉 明治19年3月29日 不足金あったので確認願う 同封 宮代謙吉宛中松屋深沢専助書簡 3月26日 彦代その他不足金あり	700 705
三觔 八右衛門 明治22年5月3日 平板止め金の件問合せ 明治22年5月29日 亜鉛引板値段通知 明治22年6月22日 申込の大阪・トタン等通運会社より送る	691 692 693	宮田 寅治 明治〔 〕年〔 〕月13日（在横浜） 近況報告 明治14年9月6日 北海道官有物払下事件についての演説会開催提案 明治〔 〕年3月31日 細川氏そろい次第出張する 明治〔 〕年5月17日 親睦会にて自由の気脈を通じた 貴君の尽力の結果なり 注 猪俣是 森鑠三郎連署差出	708 706 707 709
三橋 喜久造 明治24年2月 荷物預り依頼書在中 注 三橋の肩書は日本郵船会社荷物取継所	694	村瀬 □ 明治〔 〕年2月3日 中島議員より付託の件に付相談したい	710
水島 五郎右衛門 明治〔 〕年7月10日 中村氏へ依頼の件返事なし	212	目黒 久男 明治〔 〕年4月21日 借金返済延期願ひ	711
水島 常左衛門 明治〔 〕年5月15日（在大磯） 養島氏戸長就任辞退す	695	森田 栄蔵 明治〔 〕年5月7日（在横浜） 相談したき事あり	712
水島 保太郎 明治〔 〕年1月23日（在大磯） 国会期成同盟会を自由党となす 中央本部維持費として神奈川県は五百円請負う見込 明治〔 〕年1月22日	696 697	八尾 玄益 明治14年7月29日 徴兵上の件に付相談したい	713

注 八尾は西多摩郡書記			
明治 15 年 1 月 18 日	715	同封	
日頃の御無音を詫る		油屋今助商い差引帳	
明治〔 〕年 4 月 22 日	716	左七郎宛伊達時書簡	
蚕紙送付願い		2 月 12 日	
同封		山口隠居家政処分一件書類届けられたし	
山口宛庶務掛書簡		左七郎宛大越直温書簡	
八尾氏の手紙を送付す		2 月 28 日	
明治〔 〕年 11 月 1 日	714	拝借金は非職の身になったため返せない	
残額支払請求		明治〔10〕年 7 月 31 日	758
明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日	718	おりんへの人形届いた 米麦今月相場	
箱根入湯費差しつかえに付帰港後精算す		同封	
明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日	717	左七郎宛山口作助書簡	
〔虫喰い多く判読不能〕		7 月 31 日	
柳川 寅吉		堀江周次郎の戦地での安否不明	
明治〔 〕年 5 月 10 日	719	明治〔10〕年 10 月 13 日	770
憲法上の疑問について愚案参考資料として送る		おまきは女子出産 大工職間にあわない	
山岡 惣		明治〔11〕年 2 月 4 日	735
明治〔 〕年 2 月 6 日 (在大磯)	720	大審院の件いかがすべきか 代言人決してあてにならず	
先日談話の件御尽力いただいていると思う		明治〔11〕年 2 月 6 日	736
明治〔 〕年 2 月 13 日 (在大磯)	722	出訴の件大審院へ出ても無理と聞く 今辞職はうまくないので休暇をとってはどうか 小田原裁判所より近々呼出しがある 葛貫への用立は地券をもって横浜銀行より貸付ける	
当地所古木売買の件		同封	
明治〔 〕年 7 月 6 日	721	左七郎宛作助書簡	
書翰の件御懸念くださることはない		2 月 6 日	
山口 市之助		大審院上告は示談にならないか	
明治〔 〕年 3 月 3 日	723	左七郎宛石井吉右衛門書簡	
地所は養父へ渡した		2 月 6 日	
山口 勝太郎		該件拝承	
明治〔 〕年 2 月 28 日	724	明治〔 〕年 1 月 8 日 (在横浜)	728
市之助家内調印の件感謝す		羽織仕立て間にあわない 金子様一件うかがいたい	
山口 作助		明治〔 〕年 1 月 14 日 (在横浜)	732
明治 10 年 1 月 28 日	733	定家筆の日記借用を金田へ願った 周次郎病身 旗本家来質物受戻しの願いが来ている	
夜具送った 読売新聞印紙添付した 樫の木伐採の件 田丸屋事件小田原裁判所へ依頼した 西富岡社帳八袋はいかにすべきか 油屋家業の件 間部様地所改換地券証添付する 間宮家法事は多朗を同伴 宅地等級は二等になった		当節の米価 1 円に付 2 斗 4 升	
同封		明治〔 〕年 1 月 27 日 (在横浜)	731
左七郎宛麻生今助書簡		この件〔内容不明〕は日数費用がかかる 代言人はあてにできない	
明治 10 年 1 月 28 日		明治〔 〕年 2 月 1 日 (在横浜)	734
御心労かけた一条見込みがたった		80 円領収 田丸屋処分未済 串橋社等級帳持参 米価 1 円に付 2 斗 4 升	
明治 10 年 3 月 4 日	727	明治〔 〕年 2 月 7 日 (在横浜)	737
大越氏の書簡送る 願書は鶴川氏調印して庶務課に出したが差し戻された 山田伊三郎へ区裁判所より出頭通知あり 山田新兵衛よりの示談いまだらちあかない 市之丞より簿冊送付された 油屋今助より商い状況説明があった 七沢の様子不分明		上等裁判所出頭の件承知	
		左七郎宛作助書簡	
		2 月 7 日	
		東京止宿先知りたい	
		明治〔 〕年 2 月 9 日 (在横浜)	738
		宅地等級実は一級であった 七沢村黄金井伝四郎の件 新聞印紙の件 下男の件いかにするか 伊達時来訪	

- 明治〔 〕年2月12日（在横浜） 740
出訴手続き進捗している
- 明治〔 〕年2月17日（在横浜） 741
新聞届かず 八兵衛源兵衛に貸し付けした
- 明治〔 〕年2月19日（在横浜） 742
かねての事件なるべく示談にしたい 過日の
裏書写送付する
- 明治〔 〕年2月26日（在横浜） 778
鵜川氏戸長奥印をもらって小田原支庁へ出頭
予定 立寄ってほしい
- 明治〔 〕年3月27日（在横浜） 743
里長の件支庁より回議あった 利子入金の件
金田より連絡あった 奉公人今明日中残らず
引越す 山口市之丞家督相続の件 永徳院法
要四月に執行す
同封
左七郎宛作助書簡
3月26日
研圃先生の画の件問合せ
- 明治〔 〕年4月11日（在横浜） 744
大区務所よりの書類届かず 大沢氏へ来信
新聞届かず
- 明治〔 〕年4月11日（在横浜） 745
黄金井と示談懸合の件 昨今病気がち 永徳
院明珠院の法要手伝人手配した 今朝重吉を
大区務所へ遣した 油屋今助が間部様の地券
持参した
- 明治〔 〕年4月13日（在横浜） 746
懇書の趣承知 算用の本待っている
- 明治〔 〕年4月15日（在横浜） 747
黄金井出訴の件は差紙持参した 法要終了
村用掛が小田原支庁へ呼出されたが理由不明
- 明治〔 〕年4月17日（在横浜） 748
黄金井差紙の件で八兵衛横浜へ向う 大区中
再調終了
- 明治〔 〕年4月22日（在横浜） 749
訴訟の進展状況 油屋今助が間部様地所の件
で逢いに行く 頼母子落札した このところ
米価直下 おまき風邪で寝ている
- 明治〔 〕年4月28日（在横浜） 750
黄金井一条未だ沙汰ない 筆算本届いた 旅
宿訪問は差し留める おまきの風邪おもしろい
金子村より来信 妹と医師一条に付紙屋来訪
黄金井一件代言人はどうなったか
同封
左七郎宛作助書簡
28日
近日中伊豆へでかける
左七郎宛おまき書簡
4月27日
この程はしかに罹る 御まへ様がこなけ
ればひまもできない
- 左七郎宛環節堂書簡
4月29日
借入金精算した
- 明治〔 〕年5月6日（在横浜） 751
此度の地籍掛拝命とは迷惑のことと拝察する
おまきの風邪はおもしろい 茶製師人八王子より
来た 頼母子落札 麦も売りさばかなければ
ならない 八兵衛はその模様により身代限り
とする おまきの病状おもしろい
- 明治〔 〕年5月14日（在横浜） 752
おまき少し快方に向う 大山へ狭山製茶人来
ている 相談したき事あり 米高値に付売り
はじめた 裁判一件はどうなったか
- 明治〔 〕年5月28日（在横浜） 754
伊豆へは1日頃出立予定 此度戸籍番号改正
された 多朗へミルクを飲ませたい 上屋敷
明地貸付けた 米売却 黄金井一件いかが
- 明治〔 〕年6月3日（在横浜） 755
読売新聞代は九兵衛に持たせる 戸籍書上げ
は過日の通り 十日市場火災の様子
同封
牛乳代金書付
- 明治〔 〕年6月6日（在横浜） 779
十日市場で出火 昨夜下粕屋でも火災あった
- 明治〔 〕年7月5日（在横浜） 777
先月伊豆へ行って来た木負村漁業争論の顛末
柏木侯へ寄ったが留守 昨夜明神前山本宅よ
り出火
- 明治〔 〕年7月6日（在横浜） 756
4日夜15軒焼失の火事発生
- 明治〔 〕年7月25日（在横浜） 757
22大区証書手入れがあった 今年は旱魃 間
部様より引換証書送付されず困る 休暇の節
寄ってほしい ミルク届いた おまき再発病
同封
左七郎宛作助書簡
香を少々求めてほしい 瘡木をたくと脚氣
に効く
- 明治〔 〕年8月9日（在横浜） 759
下総の清兵衛大山詣で立寄った
- 明治〔 〕年8月14日（在横浜） 760
黄金井伝四郎に関する件は訴訟却下
- 明治〔 〕年8月17日（在横浜） 761
黄金井訴訟一件落着した ただし黄金井は控
訴予定
- 明治〔 〕年8月27日（在横浜） 762
裁判ずみの件は未だ村方会所に連絡なし 区
長病氣は表向きのこと 豆州木負村大磯半左
衛門よりの村方差し纏れの話しあり
同封
左七郎宛作助書簡
8月27日

黄金井控訴は東京へ依頼と吹聴		明治〔 〕年2月10日	739
明治〔 〕年9月30日(在横浜)	767	金子村及び沼津間宮より来信あり	
横浜もコレラ病落着と入聞す 茶価低落 借家賃の件連絡なし		明治〔 〕年1月9日	730
明治〔 〕年10月6日(在横浜)	768	周次郎病身 来月法事 鶴川九兵衛村用掛補助拜命 下男の件忘れないように 豊田宿より宮下へかけて 40 軒焼失 桧切り倒された いかたき代送る 地引帳まだ届かず 一ノ宮村地価写取りたい	
明治〔 〕年10月11日(在横浜)	769	明治〔 〕年1月9日	729
女子誕生 茶は伊勢原加藤へ売却 沼津間宮へはこちらより書状出す		机硯墨等引渡し目録	
明治〔 〕年10月23日(在横浜)	771	山口 書輔	
コレラ再流行 周次郎戦地より帰還 伊達氏学資金の件申し来たる		明治14年11月14日	782
明治〔 〕年11月11日(在横浜)	763	郡長退職は今日の有様からすれば適当と思う	
間部様地所小作年貢収納高報告 職人事の都合によせて東京へでかける		明治〔 〕年1月25日	783
明治〔 〕年11月22日(在横浜)	773	狂客一件集会の儀 明白になった	
紙屋家内の者逃げさり繰出で山狩りした		明治〔 〕年1月25日	785
明治〔 〕年11月29日(在横浜)	764	狂客一件についての集会開催のための指揮を乞う	
九兵衛差し出しの口書と相違している件其筋へ周旋してほしい 原田嘉平治が頼母子に入る		明治〔 〕年2月12日	784
明治〔 〕年11月30日(在横浜)	774	費用取り扱い方一工夫してもらいたい	
上等裁判所へ出張す 環先生は昼出立す		明治〔15〕年5月7日	786
明治〔 〕年12月6日(在横浜)	775	山口松三郎の件は親類会議を開く 一二年は県議会議員をつとめる	
麻生□□錯乱す 上等裁判所はどうなったか		山口 まき	
同封		明治10年5月26日	753
左七郎宛作助書簡		ミルクを送ってほしい	
12月6日		明治〔 〕年2月9日(在横浜)	788
普請も案外かかる 田丸屋敷は伊勢原住人に貸した		借財の高低かほどか	
明治〔 〕年12月8日(在横浜)	776	明治〔 〕年6月11日(在横浜)	789
原田嘉平治無心する 田丸屋敷家賃取りきめた 山林七反歩地価額		両親共健在安心されたし	
明治〔 〕年12月13日(在横浜)	780	明治〔 〕年7月31日(在横浜)	791
黄金井未だ不分明 油屋からの返金送る 田丸屋への引越し始まった 二宮不快との事心配なり		一度御帰宅願う	
明治〔 〕年9月8日(在大磯)	765	明治〔 〕年11月20日(在横浜)	790
七沢村中村良助来訪 糟屋有彦学校の件で来訪す 山口書輔県より帰宅来訪		石倉明神前紙屋で殺人事件起る	
明治〔 〕年9月13日(在大磯)	766	山口 秀明	
県書記官派出の件承知す		明治〔 〕年9月21日	804
同封		官林梅林払下げの件回答	
左七郎宛作助書簡		山口 秀胤	
9月13日		明治12年2月15日	794
明日是非帰宅願う		甲子太郎君の縁家預り承諾を得た	
明治〔 〕年11月17日(在大磯)	772	明治13年3月4日	792
昨日東京より帰った 屋根なまこ板の件		給料の件取りきめ願う	
明治〔 〕年12月18日(在大磯)	781	明治〔 〕年5月27日	787
三期納や油屋月掛講の件相談したい		東海鎮守府営土地の件で県官出張は人民に不都合なり	
		明治〔 〕年7月30日(在大磯)	793
		甲子太郎君の世話は世話人の病気でゆきとどき兼る	
		明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日	795
		風邪気味の由 注意されたし	

山口 寅吉		山口宛小川清書簡	
明治〔 〕年3月27日	796	4月6日	
昨年帰郷の節 種々世話になり感謝す		紡績製糸業の実情について	
山口 正之助		郵便報知新聞社	
明治10年11月10日	797	明治12年6月26日	811
お金領収		前金切れ通知	
明治40年11月2日	798	横地 餃平	
資金調達依頼		明治〔 〕年1月25日	818
明治41年4月12日	799	上級裁判所へ上告するかどうか問合せ	
委任状及び印鑑証明を送る		明治〔 〕年1月22日	817
明治41年4月12日	800	上等列(ママ)所裁許状送付依頼	
登記委任状取扱いの件		明治〔 〕年11月27日	816
注 山口慶太郎連署差出		証書書式の付回答	
明治41年4月15日	801	横山 才次郎	
委任代理人依頼		明治18年12月25日	819
注 山口慶太郎連署差出		18年度小作米総計通知	
明治〔 〕年7月2日	802	吉岡 信徳	
石倉伊勢原道路開設による潰地の件承知した		明治12年10月11日	820
山口 松之助		末端官吏でもよいから採用してほしい	
明治12年9月20日	803	明治13年1月3日	821
貴君は大阪の太十の親類かどうか		新年挨拶	
山口 □□		明助14年1月4日	822
明治41年4月14日	725	新年挨拶	
正之助の件宜しく願う		明治15年1月1日	823
山口 伊兵衛		新年挨拶	
明治〔 〕年9月23日(在大磯)	805	吉川 繁之助	
沢田先生に面会した、先生は玉川滞留		明治〔 〕年3月19日(在大磯)	824
山口 権三郎		御配慮の件に付近日中面会に出向く	
明治〔 〕年2月19日(在大磯)	726	明治〔 〕年3月22日(在大磯)	825
地所周旋方は中村・和田両氏へたのむので券証を同人へ渡してほしい		家族は移転先決まり次第 引移る	
山口 雪助		吉田 吉兵衛	
明治〔 〕年3月15日(在大磯)	807	明治〔 〕年2月22日	826
真土村拝借金願の件は大変困難だが其筋へ申立ててみる		入用の趣あり御見参願う	
注 山田は県五等属		吉野 直興	
明治〔 〕年6月6日(在大磯)	808	明治〔 〕年11月22日(在大磯)	827
真土村拝借金指令で、該金未だ大蔵省より送金されず		お金入用になる	
明治〔 〕年6月25日(在大磯)	806	和田 周造	
真土村拝借金借用証書雛型送る、大蔵省より下付金について回答ないので県庁にて一時立替える		明治13年12月5日	828
明治〔 〕年12月19日(在大磯)	809	横浜師範学校入学に際し種々の御厚志を感謝す	
丹沢山郡界の件照会に付回答		渡辺 恕之允	
山本 長造		明治〔 〕年10月19日(在大磯)	829
明治〔 〕年4月14日(在大磯)	810	中学卒業試験への臨席を感謝す	
事情により製糸は担当しない		差出人不明	
同封		明治〔 〕年7月15日	852
		縁談の件調査結果を報告す	
		明治〔 〕年12月9日	850

二、三日中に帰郷する 明治〔 〕年12月22日 五十嵐と協議した件について相談したきことある故 退庁後面会したい 明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日 明朝会いにてかける	849 851	福沢氏の一件に付 本日塔ノ中まででかける 明治〔 〕年9月15日 鉄砲不都合の件 書面にて申し遣した 明治〔 〕年〔 〕月10日 このたびの出県は国の安危に係り 平素の御用とは違う 明治〔 〕年〔 〕月〔 〕日 種々用事あり帰宅できない	840 842 843
山口左七郎書簡 大沢 市左衛門宛 明治〔 〕年9月30日 巡回講師に高木氏を迎え明日龍源寺で演説会を開く 同封 本多宛山口左七郎書簡 黄金井伝四郎に係る貸金催促の控訴状請取った 梁秋浦宛山口左七郎書簡 明治〔 〕年5月2日 参館の約束は事故あって出来ず 注 梁は横浜商館勤めの清国人	841	その他 打村 鹿書簡 沢田 彌宛 明治〔 〕年月9日3 民権家をコレラ病よりも嫌がり諸事情もあって東京へ移る 梅原 脩平書簡 山口 作助宛 明治〔 〕年10月20日 伊達彰民氏学資金援助に感謝す	844 845
小島 壮三宛 明治〔 〕年10月15日 弊屋へ参上願いたい	834	金田 敬親書簡 山口 作助宛 明治〔 〕年12月31日 榎田村一件は2日程待って違約あれば出訴すればよい	846
山口 作助宛 明治〔 〕年2月4日 徴兵に関し戸籍帳改め立会検査のため帰宅できない 明治〔 〕年2月10日 山口松三郎及び地所一件承知した 明治〔 〕年2月12日 東京より演説者来たので帰宅できない 尾崎鶴吉宅失火気の毒に思う 明治〔 〕年7月28日 横浜東京の米価は意外の高値なので売払いはい少し見合せたい 同封 郵便報知新聞〔東京物価表〕 明治〔 〕年8月21日	835 836 837 838 839	草間 時福書簡 沢田 彌宛 明治〔 〕年1月20日 肥塚龍は28日に曾屋村へ向け出発する 波多野 伝三郎書簡 湘南学舎宛 別封を細川瀾へ渡してほしい(別封なし) 間宮 母書簡 山口 まき宛 明治〔 〕年5月21日 高島瓶三郎の件	847 848 660